

ふくい 退職者連合

福井県退職者連合

No.62 2019.7.20

福井市問屋町1丁目35

発行責任者 山口 克家

19年度 交流親睦旅行 5月27日(月)~28日(火)

歴史と名湯に浸る2日間 ~しまなみ海道で行く松山市内観光と道後温泉の旅~



「歴史と名湯に浸る2日間」

しまなみ海道で行く松山市内観光と道後温泉の旅に参加して

NTT労組退職者の会・古市 つや子

今年の親睦旅行は四国へ。バス3台は心地よい初夏の青空のなか、舞鶴若狭道から中国道・岡山道を経由して瀬戸大橋からの瀬戸内海の景色を横目に高速を乗り継ぎひたすら走り続け松山市に着くと、一日目の観光「子規堂と坊っちゃん列車」を見学しました。今テレビで人気の「プレバト」、夏ちゃん先生の俳句の番組もあり興味津々でした。子規堂は正岡子規が使っていた部屋で時代を感じる質素な部屋でしたが、何故か身の引き締まる思いがしました。坊っちゃん列車の展示は「孫」が喜びそうなかわいい車両で、皆さん記念撮影などをしていました。

宿泊の道後温泉は「日本書紀」にも登場する日本最古の温泉で、期待どおり透明で泉質もさっぱりで柔らかくとても満足しました。また夏目漱石の「ぼっちゃん」にも描かれ、重要文化財にも指定されている「道後温泉本館」は修理中でしたが、外観はとても魅力的で、歴史を感じる建築物となっていました。ホテル椿館での大宴会(119名)では、組織を超えた懇親会で長旅の疲れも忘れとても盛り上がっていました。一番盛り上がったのは、参加者のカラオケに合わせてホテルの仲居さんがビール瓶を両手に舞い(?)、カラオケを盛り上げてくださった時。最高!!

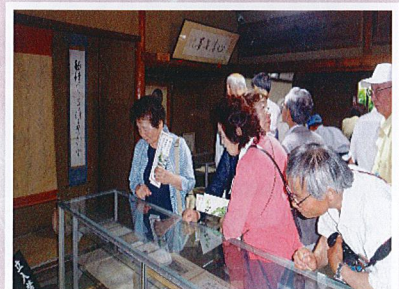
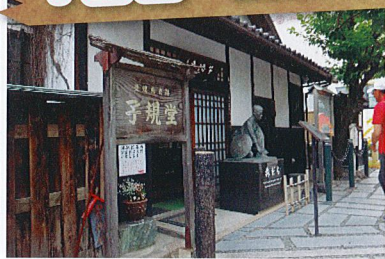
2日目はあいにくの雨。雨に煙る松山城には徒歩でも登れますがロープウェイで登りました。賤ヶ岳の合戦で有名な加藤嘉明が築いた城は、市内から見上げる姿とは違い大きな敷地と攻守に優れた連立式天主を備え、「日本歴史公園百選」にも選ばれる立派な「お城」でした。ここで緊急事態は発生。「しまなみ海道が多重事故で閉鎖」の連絡が入り、急きょ予定にはない四国八十八ヶ所の一つ、五十一番札所の「石手寺」を参拝することとなりました。ここも歴史ある古刹で見どころはたっぷりありますが、時間が少ししかなく急ぎのお参りとなりました。茶屋での昼食と絶景の「しまなみ海道」は幻となりましたが、帰りの社内ではビンゴゲームでハラハラ・ドキドキしながら、多重事故に遭遇することもなく無事につくことができました。本当に良かったです。皆様、来年またお会いできるといいですね…。



長いバス旅行は昼食も楽しみのひとつ



1日目「松山市・子規堂、坊っちゃん列車見学」



坊っちゃん列車ミュージアムで（コーヒーショップの中にあるのであ）



やっぱ宴会はええの!



福田会長のあいさつと乾杯で宴会がスタート



いつも楽しいカラオケ



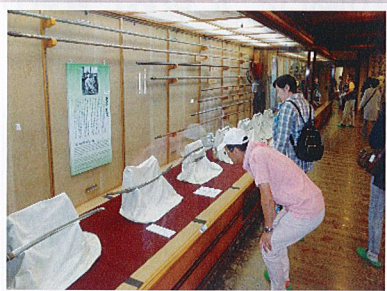
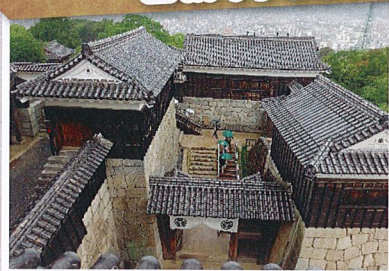
仲居さんのパフォーマンスは最高♥

加藤副会長の締めは「ハッピー三唱」会場笑いの渦!



2日目は 名城「高松城」観光

残念ながら雨、
でも松山城は堪能できました。



帰りの車内では お楽しみビンゴゲーム

BINGO									
13	51	48	35	1					
4	8	67	5	17					
62	3	★	23	45					
30	38	20	11	40					
52	14	42	49	65					

ラッキー!! イエー



旅行後記

事務局長 山口 克家

今年の旅行も片道600kmを超える長旅になりました。でも毎回感心するのは皆さん「元気」です。1日目の観光は正岡子規記念館・坊っちゃん列車ミュージアム。子規堂は普通の民家をそのまま残しており、子規に興味を持っている方にとってはもっと時間がほしいところだったと思います。宿泊は道後温泉「椿館」。仲居さんの衣装も小説「坊っちゃん」に出てくるマドンナをモデルに当時の矢羽根柄の着物にえんじ色の袴で接待してくれます。有名な道後温泉の本館へはホテルから歩いて10分ぐらいで、足を延ばして訪れた方もおりました。2日目は雨。「雨男は誰?」。雨に煙る松山城へはケーブルカーを利用して上ります。この城は日本で12しか残っていない「現存12天守」のひとつで、「日本の100名城」にもなっています。天守を含め櫓・門・塀など21の建造物が国の重要文化財に指定されていて、城ファンにとっては垂涎の的になっている所でしょう。帰路、「しまなみ海道」は事故で閉鎖になり急きょ行程変更となるアクシデントに見舞われました。参加された皆さまには昼食も含め大変ご迷惑をおかけしました。ですが皆様のご協力で無事帰れたことに対しお礼申し上げますとともに、来年のご参加もお待ちしています。

物申す!『民意』が行方不明? 『貧すれば鈍する』野党に喝!

会長 福田 正人



令和が幕開けしても、新時代の政治に明るい兆しは全く見えない。

「正義と悪」が、「正論と曲論」が真逆の世の中。期待外れの凡戦だった党首討論に象徴されるように、まともな国会論戦がないまま閉会した通常国会。トランプべったりの日本外交、戦闘機などの爆買いなど危険な道に着々と歩を進め、虎視眈々と改憲に意欲を示す安倍長期政権。

年金は「公助から自助」へと方向転換(責任転換)?『年金100年安心』はどこへやら、『老後2000万円問題』不都合な真実が明るみに出るとモミ消し、臭いものには蓋をする。5年に一度の『健康診断』である「財政検証」すら未だ公表せず、『改ざん、隠ぺい、忖度、不正』を繰り返し、やりたい放題の安倍一強政治に開いた口が塞がらない。

しかし、これほどまでに政治の劣化と私物化が進み、国民の生活実感とかけ離れた政治を許しているのは、一昨年10月衆院選前に「希望の党」への合流をめぐりバラバラになり、現在も低迷している野党の責任も大きい。

このままでは、国民の怒りも消え失せ、その矛先はどこへ向かえば良いのか?若者は自民党、ジイ・バアは野党支持。「若低高高」と揶揄される野党の支持率、無関心・無党派層が4割に迫る国民の政治意識。いま「民意」が行方不明になっている。

『貧すれば鈍す』野党に喝!、でも期待する。退職者連合は「現退一致」の旗印の下、「応援団」として連合にも叱咤激励する。

「今日から始めるココロとカラダのパワーアップ」 2019年度研修会開催

労働者福祉協議会共催での研修会は7月9日、ユニオンプラザで80名の参加の中開催されました。理学療法士「山本進」氏の講演で従来の教室型のスタイルから、椅子だけのセッティングで軽く体を動かす事も多く取り入れながら、楽しく講義を受けました。山本氏自身脳梗塞を経験し、現在も左半身が不自由な状態ですがそれをハンディとせず明るくリードして下さいます。お手玉を使って脳や体を活性させる運動、また二人一組で表情を明るくする運動など楽しみながら学んでいました。山本氏は「どんなことも恥ずかしがらず積極的に取り組むことが大切、できるようになります」と教えて下さいました。また、サポートで同伴されていた奥様からは、罹病してからの闘病、リハビリ、社会復帰までのご苦労や心の変化なども話され、大変感銘を受けました。年齢とともに少しずつ消極的になりがちですが、もっともっと前向きに暮らしていきましょう。

